

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1006	(H.28)No.	1006
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと応援推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	総合企画政策室	山下 光彦	

会計区分	事業コード	023801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	ふるさと応援推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	ふるさと応援推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2 自主自立の市政経営
	施策	3 持続可能な財政運営
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト	

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
財政の自立と安定性のための自主財源の確保と、PRや返礼品の贈呈を通じた“ふるさと名張”の知名度拡大を目指します。
事業内容
平成20年4月の「地方税法等の一部を改正する法律」において、個人住民税における寄付金税制の拡充の方針(ふるさと納税制度)が示されたことを受け、ふるさと納税(寄附金)による支援をまちづくりへの参加手法として整備するとともに、寄付の拡大に向けたPR活動と返礼品内容の充実に取り組みます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)			H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寄付拡大に向けたPR等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちらしの作成(増刷)</li> <li>・民間の専用WEBサイトによるPRと申込受付</li> <li>・各種イベントや新聞・広告等を活用したPR</li> </ul> </li> <li>※28年度実績(5/1現在) 1,768件 6,249万円</li> <li>○返礼品の贈呈と内容充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトやメロン、宮城県塩釜市の特産品などの期間限定品を追加したほか、市内での食事券や宿泊券といった観光商品の追加も行った。</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○寄付拡大に向けたPR等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちらしの作成(増刷)</li> <li>・民間の専用WEBサイトによるPRと申込受付</li> <li>・各種イベントや新聞・広告等を活用したPR</li> </ul> </li> <li>○返礼品の贈呈と内容充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・とれたて名張交流館等関係団体との連携による返礼品の内容充実</li> </ul> </li> </ul>		○寄付拡大に向けたPR等			○寄付拡大に向けたPR等			○寄付拡大に向けたPR等	

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分				
①直接事業費		17,230千円		20,875千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	
内訳(千円)	国・県支出金							
	地方債							
	その他(繰入金)		17,230		20,875	20,000	20,000	20,000
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.55人	0.46人	0.45人	0.45人	0.45人	
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
②概算人件費	0千円	4,125千円	0千円	3,450千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円	
①+②総事業費	0千円	21,355千円	0千円	24,325千円	23,375千円	23,375千円	23,375千円	

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
イベント参加や市広報や都市圏で配布される新聞広告を活用したPR強化、また、とれたて名張交流館、名張市観光協会、名張市物産振興会との連携による返礼品の拡充や宮城県塩釜市の特産品をはじめとする期間限定品の追加など、寄附金の増大に努めたことで、前年度とほぼ同規模の寄附額を維持し、厳しい財政状況の中、自主財源の確保を図ることができました。 また、ふるさと納税のPRや返礼品を全国の寄附者に贈呈を通じて、名張市のPRを行う事もできました。 全国の自治体間で返礼品競争が過剰化する中、平成29年3月に総務省から返礼品の送付等に関する通知がなされました。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
今後も寄附金の一層の増大を目指すとともに、寄附者の思いに沿った寄附金の柔軟な活用を図っていきます。 また、平成29年3月の総務省からの通知に関しては、現在、本市の返礼品には、総務省の指導要件(寄附額の3割以下・換金性の高いものや高額なもの)に反すものはありませんが、総務省はあわせてご当地の市民への返礼品を中止するよう指導していることから、本市においても県内他市等の動向もみながら中止する方向で検討を行う必要があります。 なお、平成29年度からは事務の効率化と経費削減を目的に、本事業に係る事務の大半を庁内の業務支援センターに委ねていきます。	